

黄昏時になると酒を求め、肴を求めて巷をさまよう私も、二日酔いの休日には札幌の街を散策し、小さな発見に胸をときめかせています。今回も前号のCH149号に引き続き、大通公園界隈に散在する彫刻やモニュメントをご紹介します。

大通公園西3丁目の北側には石川啄木像が建立されています。「しんしんと幅広き街の秋の夜のとうもろこし玉蜀黍の焼くるにおひよ」の歌が刻まれています。彼が札幌で新聞記者生活を送ったのはわずか2週間でしたが、札幌の街にも啄木はいるのです。



写真-1 石川啄木像

昔の小学校には二宮尊徳像がありましたが、今ではあまり見かけなくなりなりました。大通公園西5丁目の南側にある昭和ビルは、駐車場のある東側が凹形状になっていて、そのわずかな空間に二宮尊徳像がひっそりと立っています。ビルは南北に通り抜けるので、大通公園側から入ると左手の大きな窓から拝することができます。まさに都会の隠れたスポットになっています。

大通公園西8丁目のブラック・スライド・マントラは世界的な彫刻家イサム・ノグチが制作したあま

りにも有名な作品ですが、着目していただきたいのは、ここだけ大通公園を南北に横切る道路が分断さ



写真-2 昭和ビルの二宮尊徳像

れていることです。8丁目と9丁目の間には以前は道路がありましたが、子ども達が車を気にしないで遊べる空間に作品を設置したいという本人の強い希望で、札幌市が2年の歳月をかけて交通止めにしたそうです。素晴らしい発想と英断ですね。



写真-3 ブラック・スライド・マントラ

大通公園の終点となる西13丁目には大正15年(1926年)に札幌軟石とれんがを用いて建てられた札幌資料館があります。この建物は、昔は札幌控訴

院という裁判所でした。その証拠に正面玄関の上部には、法の前の平等を示すため目隠しをした法の女神テミスのレリーフが掘られています。



写真-4 法の女神テミス

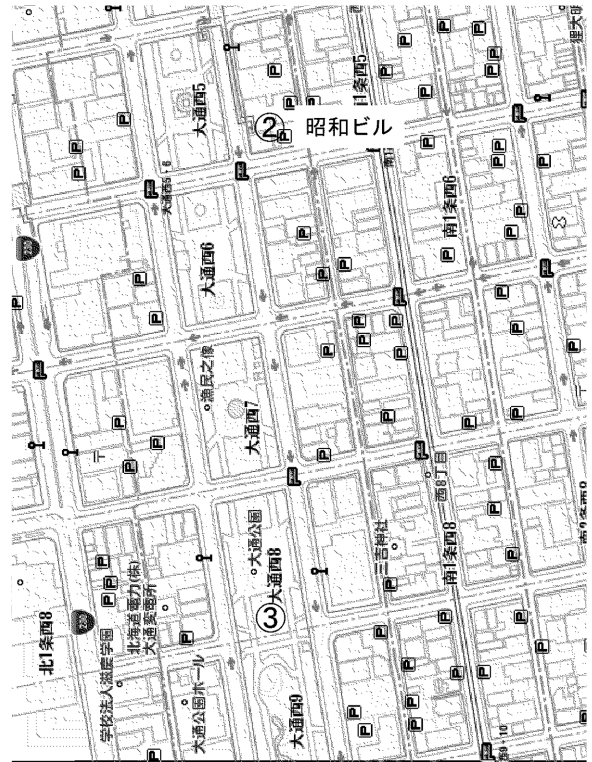
また、この建物には札幌の漫画家おおば比呂司の常設展が開かれています。彼の作品は飲食店や道産のお菓子にも使われているので、道産子なら一度は目にしたことがあると思います。



写真-5 おおば比呂司の作品



大通公園には他にも多くの彫刻やモニュメントがありますので、散歩してみてもいいかもしれません。



- ①石川啄木像
- ②二宮尊徳像
- ③ブラック・スライド・マントラ
- ④法の女神テミス

対馬 一男 (つしま かずお)

技術士(建設/総合技術監理部門)

北武コンサルタント株式会社
札幌シティガイド

